



スローガン  
「幸せ  
あふれる  
北小」  
～私も幸せみんなも幸せ～

# はぴねす

時津町立時津北小学校  
学校だより R7第13号

令和7年12月17日  
文責：校長 今井大輔

## 幸せアップ北小図書館

日本紙器株式会社様からの心温まる  
ご寄贈に感謝

12月3日(水)に、今年度も日本紙器株式会社様より、子供たちのための児童用図書をご寄贈いただきました。特筆すべきは、これが40回目を迎えたということ。実際に40年にもわたり、地域社会の未来を担う北小の子供たちへ毎年欠かさずご支援を続けてくださるという事実、他校では考えられない、心類まれなるご厚意であり、心より感謝申し上げます。

今回は、209冊(約40万円分)もの新しい本をいただきました。時津町からの図書購入に加えて、このような形で毎年新しい本を購入できる北小の図書館、そして本に親しむ子供たちは、本当に幸せです。



寄贈式には、6年生を代表し、年間の本の貸出冊数が学年トップの2名が参加しました。二人は感謝の言葉をしっかりと伝え、満面の笑顔で寄贈本を受け取りました。杉本社長様からは、「デジタルではなく、紙の本を読むことに良さがある。ぜひ、多くの子供たちに読書活動の機会をいただき、温かい励ましの言葉をいただきます。」と、読書活動の重要性を語りました。

新しく並ぶ本をキラキラと、目を眺め、早速手に取って見ると、杉本社長様と共に、子供たちも胸が熱くなりました。本が準備を整え、貸し出しされている様子です。これら新しい本が、子供たちにとって、心待ちにしている本です。ご支援に、改めて深く感謝申し上げます。



## 出張カナリーステージナイン

12月10日、体育館にて「出張カナリーステージナイン」(カナリーホール工事のため)を開催し、全校児童で鑑賞しました。今回ご出演いただいたのは、長崎県を拠点に和太鼓の演奏活動をされている「西方小天鼓(さほうこてんぐ)」の皆さんです。笛や三味線の演奏も加わり、迫力ある華やかなステージとなりました。子供たちは、リズムに合わせて手拍子をしたり、体を動かしたりと、心と体全体で演奏の感動を味わっている様子でした。嬉しいサプライズとして、本校の6年生の平野姉妹が、後に全員が太鼓を叩いた貴重な体験もさせてもらいました。



## 少年の主張大会

12月4日(日)に、「とぎつ生涯学習を考えるつどい」が長崎外国語大学ホールにて開催されました。このつどいの後半では、恒例の「少年の主張大会」が行われ、今回は町内の小中学生16名がそれぞれの熱い思いを発表しました。本校からは、4年生の岩永 琉海(いわなが るみ)さんが出場し、「将来、看護師になりたい」という明確な夢を、聴衆に力強く、堂々と述べることができました。他の小中学生も、それぞれの貴重な経験に基づいた率直な思いを、実に堂々とした立派な姿で発表しており、大変感動的な時間でした。会場で聴いていた保護者や地域の方々からも、感嘆と激励の声が聞かれ、子供たちの頑張りや地域全体に伝わったことと思います。



## ついでに

年末年始の独特の雰囲気は、子供の頃から大好きだ。年末の慌ただしさや年始のまつりとした静けさは、1年の中でこの時期にしか味わえない特別なものだからだ。私自身の幼少期は、実家が理髪店だったこともあり、大晦日の夜遅くまでお客さんが途切れなかった。紅白歌合戦を見ながら家族で大掃除をするのが定番だった。紅白が終わる頃に掃除が完了し、そのまま初詣へ向かい、元旦の朝はゆっくりと過ごす、そんな年の越し方だった。それぞれの家庭に、違った正月の迎え方があることだろう。

ここ数年、私は元旦に左底の摩利支天(大原野神社)の初日の出会に参加している。左底や久留里、野田地区の方々と一緒に初日の出を拝み、皆で万歳三唱をする。近所の子供たちの顔も見かける。元旦の朝に家でテレビを見てゆつくり過ごすのも良いが、こういった地域の行事に参加し、多くの人と会話を交わす時間は本当に良いものだと感じている。



先日、日並地区にも同様の初日の出会があると耳にした。早速、主催の北クラブの方に尋ねてみると、「鳴鼓岳第2展望所」まで登って実施しているとのことだった。中島公園に集合し、そこから登っていくそうだ。まさか、摩利支天の向かいの山で、そんな素晴らしい行事が行われているとは知らなかった。早朝のため、子供たちだけの参加を促すことはできないが、ぜひご家族一緒にか。地域の皆様と一緒に新しい年の幕開けを迎える経験は、きっと子供たちの心に深く残るはずだ。

- ◇ ☆年始の地域行事の紹介☆
- ◇ 日並地区初日の出の会…1月1日(木) 中島公園午前6時集合
- ◇ 子々川地区鬼火焚き…1月10日(土)15時 子々川中央グラウンド

今回もペアレントトレーニングについての紹介です。今回はステップ4です。繰り返しになりますが、ステップ1からできるようになったら次のステップに順番に進める、難しい場合は前のステップに戻ります。4ステップ目はこれまでの内容を少しでもスムーズに進めるための取組です。それではレッツ・トレーニング！

## ステップ4 ～協力を引き出すために～

大人の思い通りに動かないこともあります。子どもは子どもでそれぞれ思い・願望があるようです（もう少しテレビを観たい、宿題まただけどゲームをしたい、など）。ポイントは、子どもがやってみようかなと思わせたり、今の思いを引っ込める、我慢する方が、得（自分のため）だと伝えたりするための工夫と考えます。

【選択させる】 例)「教科書とノートどちらから机に出す？」

ここで意図していることは、教科書・ノートを机に出してほしいことですので、できたらそれぞれ声掛けをします（ステップ1・2）。



- 「筆箱から出していい？」と第3の提案をしてくる→OKとしてできたら声掛けを。
- 何もしない時→選択肢を繰り返し、それでも何もしなければ「ではあなたのために選びます。」と冷静に伝える。

【予告する】 例)「あと3分したらお風呂に入るよ。」「あと1分ね。」



約束の時刻の前にお知らせしておくことで、心の準備ができます。時間ちょうどに止めた、始めた時だけでなく、準備した姿にも声かけをしていくと効果的です（「おっ時計を見たね。」「着替えを用意したね。」など）。

【したら／してよいという取引】 例)「宿題終わったらゲームをしていいよ。」

「がんばったらいいことがある」「がんばらないといいことなしもしくは悪いことがある」との行動の原理、応用行動分析学の考え方です。さらなる一工夫として、全部が終わらずとも途中途中でいいことがあるようにスモールステップ化することもできます（宿題全部終わったらおやつ全部→音読終わったらお茶、算数が終わったらおやつの半分、漢字まで終わったら残りの全部など）。

【よりよい行動のためにチャート】 例) ○○がんばり表、おりこうポイント表など

作成の方法は…①してほしい行動を選ぶ②試験的に観察し適切な目標かチェック③チャートに行動を書き、イラストなどを添える④望むところに貼る⑤その行動ができればシールやマーク⑥日の終わりには何枚増えたか振り返らせる⑦うまうまかなかったことは重視せず、できたことに着目（ステップ3）⑧小言や罰や脅しはNGです。ここで注意は、子どもはシール自体をずっと欲がることはないので「はいシールよ」はNGです。ほめること励ますことを忘れずに。またチャートが必要なくなっても、習慣化したこととして、このことにも声かけを。

チャートのサンプルが欲しい方は若杉まで。次回はいよいよ最終ステップ5です。